

平成25年度 施策評価

施 策 の 内 容	基本理念	1	「市民が主役のまち」	部署等名	企画部	
	基本方針	2	効率的な行財政基盤をもつまちづくり	作成課名	秘書広報課	
	基本施策	1	双方向性を重視した情報環境の充実			
	施策の目的 (取り組みの方向性)	多様化・高度化する市民のニーズに対応するため、従来の行政主体型の手法を見直し、民間の経営感覚やノウハウを積極的に取り入れながら、最少の経費で最大の効果をあげることができるよう、行政のスリム化・効率化を進める。また、行財政改革に対する職員意識改革を進め、市民満足度の高い行政サービスを提供する。そのために、市政の反省と検討の資料として5年ごとの市政の実態を記録し、また、各部の取組みについて外部評価委員による評価を受けることで、行政の効率化に対する職員の意識改革を進める。さらに、限られた財源及び資源を効率的かつ有効的に活用し、質の高い行政運営を実施するとともに、市民のニーズ、社会経済の変化に対応できる指針とするため、第一次都市総合計画後期基本計画を策定するものとする。				
	施策の現況と課題	価値観やライフスタイルの変化で、従来の広報紙による市政情報の発信だけでは、多様化する市民ニーズに対応することが困難になってきている。また、インターネットの普及により、市民からの電子メールによる意見・要望の割合が高くなっており、迅速な対応が求められている。				
評価	市ホームページの全面的なリニューアルで、簡単に検索できるようになり、市民が求めている情報が検索しやすくなった。また、スマートフォンにも対応することで、市民が利用しやすくなった。 広聴業務については、面談による相談は即時に対応している。電話やメールについても、ほぼ期限内に処理がなされ、迅速に対応している。					
施策展開の改善点等	<input checked="" type="radio"/> 順調である <input type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない					

指標名		指標に設定した理由					
①	市ホームページの情報ページ数	市政情報の充実度のバロメーターとして、ホームページのページ数で把握できる。					
②	メール期限内回答率	迅速な対応が行政の信頼アップにつながる。					
③							
目標値と実績値		単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	P		1600	1800	1800	
	実績値	P		1600	2150		
	達成度			100%	119%		
②	目標値	%	90	90	90	90	
	実績値	%	89.1	89.4	92		
	達成度		99%	99%	102%		
③	目標値						
	実績値						
	達成度						

施策を構成する主な事務事業					
事務事業名	広報広聴事業			課名	秘書広報課
事業費(千円)	97,057	評価	現状維持	施策への貢献度	高い
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業					
事務事業名				課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)				施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方				
事務事業名				課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)				施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方				
事務事業名				課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)				施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方				

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	1	「市民が主役のまち」	部局等名	総務部
	基本方針	2	効率的な行政基盤をもつまちづくり	作成課名	管財課・職員課
	基本施策	2	行政の効率化		
	施策の目的 (取り組みの方向性)	①容器の分別化により、PCB含有部分、リサイクル可能部分、産業廃棄物処分対象部分に分別し、PCB廃棄物処理特別法に則り、適正に処理する。 ②信頼性の高い公用車を選定することで、効率的な運用を図る。 ③電話機台数の不足を解消。ナンバーディスプレイ付きの電話にする。 ④都市部、三股町、曾於市及び志布志市を1圏域として、自治体間の行政機能の相互補完による事務事業等の効率化、多様化、高度化を目指すとともに、これらの行政課題を解決し、施策に結び付けるスキルを身につけた職員を育成するため、特定課題解決型研修、政策立案能力向上研修、特定分野先進事例研修及び人材育成研修会を行うほか、地域内の人事交流も行う。			
施策の現況と課題	①微量のPCB含有機器を保管している施設があり、今後、適正処分をしていく必要がある。 ②合併後、公用車の走行距離は伸び、使用頻度も増している状態にあるため、職員が公用車が帰ってくるまで待つ状態があり、職員の勤務が非効率的状態にある。また、古い公用車は、修繕費もかさみ、トラブルも多い。 ③着信処理の対応や電話転送をスムーズに行うには、更にデジタル電話の比率を高める必要がある。 ④圏域内に共通する行政課題等を解決できる人材を育成するため、特定課題解決型研修や政策立案能力向上研修を実施している。また、人事交流については、定住自立圏構想にある行政機能の相互補完による事務事業の効率化、多様化、高度化を促進するためにどのような分野の交流が必要かを調査・検討する必要がある。				
評価	①人体や環境に影響の大きい公害物質を適正に処分できた。 ②年式の古い公用車を順次更新ができてはいるが、走行距離が20万kmを超えて運用している車、20年近く経過した車もあり、更新台数が十分とは言えない。 ③十分とは言えないが、電話対応の事務の効率化が図れた。 ④政策立案等の研修については、予定していた職員数をほぼ達成した。圏域内の人事交流については、志布志市との人事交流のみで、ほかの2自治体との交流は実施できなかった。				
施策展開の改善点等	①管財課所管のPCB機器は処理を完了したが、他の施設で処理しなければならない機器があるので、助言、指導を行っている。 ②総合支所の公用車保有状況を調査し、効率的な配置ができるようにする。 ③着信数の多いところ、苦情電話の多いところを優先的にデジタル化する。 ④特定課題解決型研修では、実際に圏域に共通する課題の解決策を具体性を持って考えているため、その成果を事業化できる仕組みを検討することが今後の研修に対するインセンティブにもなる。				

指標名		指標に設定した理由					
①	法令を遵守し、全てを処分する。	B廃棄物処分特別法により平成28年までに処分を完了しなければならない。					
②	毎年、公用車を5台更新する。	80台を16年で更新するためには、毎年5台購入しなければならない。					
③	デジタル化率を50%にする	32台更新し、デジタル化することが事務効率を高めることにつながる。					
	目標値と実績値	単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	台			301		
	実績値	台			301		
	達成度	%			100%		
②	目標値	台			5		
	実績値	台			6		
③	達成度	%			120%		
	目標値	台			32		
	実績値	台			32		
	達成度	%			100%		

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	PCB処分委託		課名	管財課
事業費(千円)	9,607	評価	廃止	施策への貢献度
				高い
事務事業名	公用車購入事業		課名	管財課
事業費(千円)	5,630	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	デジタル電話更新事業		課名	管財課
事業費(千円)	2,195	評価	廃止	施策への貢献度
				高い
事務事業名	行政人材育成事業(定住自立圏)		課名	職員課
事業費(千円)	1,968	評価	現状維持	施策への貢献度
				普通
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業				
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)			施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方			
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)			施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方			
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)			施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方			

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	1	「市民が主役のまち」	部局等名	企画部
	基本方針	2	効率的な行財政基盤をもつまちづくり	作成課名	経営戦略課
	基本施策	2	行政の効率化		
	施策の目的 (取り組みの方向性)	多様化・高度化する市民のニーズに対応するため、従来の行政主体型の手法を見直し、民間の経営感覚やノウハウを積極的に取り入れながら、最少の経費で最大の効果をあげることができるよう、行政のスリム化・効率化を進める。また、行財政改革に対する職員の意識改革を進め、市民満足度の高い行政サービスを提供する。そのために、市政の反省と検討の資料として5年ごとの市政の実態を記録し、また、各部の取組みについて外部評価委員による評価を受けることで、行政の効率化に対する職員の意識改革を進める。さらに、限られた財源及び資源を効率的かつ有効的に活用し、質の高い行政運営を実施するとともに、市民のニーズ、社会経済の変化に対応できる指針とするため、第一次都市総合計画後期基本計画を策定するものとする。			
	施策の現況と課題	「部マニフェスト評価事業」では、外部評価委員会を平成24年8月に開催し、外部評価委員から評価を受けるとともにアドバイスを頂き、取組内容の改善を行い、事業効果の向上に繋ぐことが出来た。「都市総合計画後期基本計画事業」では、計画の策定に関し、市民の意見を反映させるため、各分野の代表等や公募委員で構成する市民委員会を設置し、意見の聴取及び反映に努めた。			
評価	「部マニフェスト評価事業」では、外部評価委員からの評価を受けることで、各事業の効率化について見直すこととなった。よって、外部・内部双方からの視点で行政を見直すこととなり、行政の効率化を進めることとなり、また、行政の効率化に対する職員の意識改革を行うことができた。「都市総合計画後期基本計画事業」では、市民委員会を開催し幅広い意見を聴取することにより、後期基本計画に、市民の意見、視点を反映することができた。				
施策展開の改善点等	<input checked="" type="radio"/> 順調である <input type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない				

指標名		指標に設定した理由					
①	外部評価委員会での評価点の平均点	行政の効率化に対する外部からの評価として、外部評価委員会での評価点が指標となると考える。					
②	計画への市民意見反映のための市民委員会の開催	市民満足度の高い行政サービスの提供、行政の効率化のためには、計画策定に係る市民の意見聴取が重要であることから、市民委員会の回数は指標となると考える。					
③							
目標値と実績値		単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	点	80	80	80	/	
	実績値	点	74.06	70.25	76		
	達成度		93%	88%	95%		
②	目標値	回			6	/	
	実績値	回			6		
③	達成度				100%	/	
	目標値						
	実績値						
④	目標値					/	
	実績値						
⑤	目標値					/	
	実績値						

施策を構成する主な事務事業					
事務事業名	部マニフェスト評価事業		課名	経営戦略課	
事業費(千円)	208	評価	現状維持	施策への貢献度	高い
事務事業名	都市総合計画後期基本計画策定事業		課名	経営戦略課	
事業費(千円)	552	評価	現状維持	施策への貢献度	高い
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業				
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方			
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方			
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方			

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	1	「市民が主役のまち」	部局等名	市民生活部	
	基本方針	2	効率的な行政基盤をもつまちづくり	作成課名	納税課・市民課	
	基本施策	2	行政の効率化			
	施策の目的 (取り組みの方向性)	多様化・高度化する市民のニーズに対応するために、窓口時間の延長の実施やインターネットを利用した各種行政手続きを可能とするための環境整備を行い、市民の利便性の向上を図る。 また、住民基本台帳法の改正に伴う住民票の整備を行い、各種行政サービスの向上に努める。 さらに、公平・公正な市税の徴収を図るとともに、収納率の向上を図る。				
	施策の現況 と課題	市民のニーズに対応するため、証明発行窓口の時間延長を実施しているが、他の一部の自治体においては、コンビニでの各種証明書の発行サービスを実施している。今後は、市民満足度の高い行政サービスとして、コンビニ交付の導入を検討する必要がある。そのためには、住民基本台帳カードの普及が必要となるが、平成28年1月よりマイナンバー制度の開始に伴い、住民基本台帳カードの発行が停止となり、個人番号カードへ移行する予定である。 また、滞納整理事務の効率化や滞納者情報の共有化、初期の市税滞納防止のための電話による納付案内、納税者死亡に伴う滞納防止策により収納率の向上が図られている。				
評価	電子証明書を発行する機器を更新し、適正な保守管理を行うことにより、市民のインターネットを利用した行政手続きが可能となり、利便性の向上が図れた。また、外国人住民の住民票への移行はスムーズに完了し、住所異動の受付及び証明書発行に要する時間が短縮され、日本人と外国人の混合世帯においては、一つの申請で証明書を取得できるようになり行政サービスの向上が図れた。さらに戸籍の附票記載事項通知の電子化により、通信料(郵便料)の軽減が図れた。 差押件数1,750件、電話催告件数37,551件、納税者死亡に伴う賦課替え件数36件と差押件数、電話催告件数は順調に推移しており、賦課替えについては滞納繰上り者を実施し、収納率は着実に伸びている。					
	<input type="radio"/> 順調である <input checked="" type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない					
施策展開の改善点等						

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	都城市納税お知らせセンター設置事業	課名	納税課	
事業費(千円)	8,136	評価	現状維持	施策への貢献度 高い
事務事業名	滞納整理支援システム導入事業	課名	納税課	
事業費(千円)	2,385	評価	自然終了	施策への貢献度 高い
事務事業名	納税義務承継推進事業(緊急雇用)	課名	納税課	
事業費(千円)	4,611	評価	統合・連携	施策への貢献度 高い
事務事業名	公的個人認証(電子証明書)の発行事務	課名	市民課	
事業費(千円)	320	評価	現状維持	施策への貢献度 高い
事務事業名	外国人住民に係る住基法適用に伴う住基システム改修事業	課名	市民課	
事業費(千円)	6,575	評価	自然終了	施策への貢献度 普通
事務事業名	戸籍の附票の記載の修正等のための市町村間の通知の電子化	課名	市民課	
事業費(千円)	3,150	評価	自然終了	施策への貢献度 普通
事務事業名	住民税申告支援システム導入事業	課名	市民税課	
事業費(千円)	14,310	評価	自然終了	施策への貢献度 普通
事務事業名		課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名		課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名		課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業				
事務事業名	納税義務承継推進事業(緊急雇用)		課名	納税課
事業費(千円)	4,611	次年度予算(千円)	2,340	施策への貢献度 高い
評価	統合・連携	今後の展開の在り方	本来の課税課での執行へ移行する	
事務事業名		課名		
事業費(千円)		次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価		今後の展開の在り方		
事務事業名		課名		
事業費(千円)		次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価		今後の展開の在り方		

指標名	指標に設定した理由							
	①	有効な住民基本台帳カードの発行枚数	住民基本台帳カードの発行枚数が増えることによりカードを利用したサービスの提供を受けられる対象者が増える。					
②	収納率	事務を効率化し収納率向上に向けた事業取組みのため						
③								
施策指標	目標値と実績値	単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等	
	①	目標値	枚	3,374	3,711	4,082	-	
		実績値	枚	3,575	3,954	4,266		
		達成度		106%	107%	105%		
	②	目標値	%	93.01	93.75	93.93	94.13	H29目標は財政計画より
		実績値	%	93.28	93.65	93.76		
		達成度		100.29%	99.89%	99.82%		
	③	目標値						
		実績値						
		達成度						

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	1	「市民が主役のまち」	部署等名	山之口総合支所	
	基本方針	2	効率的な行財政基盤をもつまちづくり	作成課名	市民生活課	
	基本施策	2	行政の効率化			
	施策の目的 (取り組みの方向性)	平成6年3月山之口町の福祉政策の中核施設として完成。地方自治法の改正により、指定管理制度が設けられ、平成18年度より都市社会福祉協議会山之口支所を指定管理者とし、施設の管理を行っている。				
	施策の現況と課題	高齢者生活福祉センターの高齢者の利用が目標を下回っているが、ふれあいの館、ふれあいの里はほぼ目標を達成している。高齢者生活福祉センターの利用は、季節により月の利用者の差があり、特に生きがいデイは顕著に現れている。高齢者のレクリエーション等を行っているが、利用者のニーズに沿った魅力あるものを行う必要がある。また、備品等の老朽劣化も進んでいる。				
	評価	指定管理の目的である経費節減・効率的な住民サービス提供が出来ている。また、地域福祉事業に十分に貢献して福祉施設の核として目標を達成している。				
施策展開の改善点等	寒くなると高齢者の利用減少が顕著に現れるので、利用者の減少を抑えるため、利用者のニーズの把握を行いながら運営にあたる必要がある。					
<input type="radio"/> 順調である <input checked="" type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない						

指標名		指標に設定した理由					
①	生きがいデイ年間利用者数	利用実績を端的に表現できる					
②	ふれあいの里年間利用者数	利用実績を端的に表現できる					
③							
目標値と実績値		単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	人	820	820	820	820	92%
	実績値	人	753	746	757	△	生きがいデイ 利用人数
	達成度	%	92%	91%	92%		△
②	目標値	人	11750	11750	13000	13000	102%
	実績値	人	11998	13126	12137	△	施設全他の 利用者数
	達成度	%	102%	112%	93%		△
③	目標値						
	実績値					△	
	達成度						△

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	都城市山之口シルバーヤングふれあいの里管理運営業務	課名	市民生活課	
事業費(千円)	5,100	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名		課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名		課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名		課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名		課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名		課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名		課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名		課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名		課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名		課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名		課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業			
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方		

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	1	「市民が主役のまち」	部局等名	高城総合支所
	基本方針	2	効率的な行財政基盤をもつまちづくり		
	基本施策	2	行政の効率化	作成課名	高城_市民生活課
	施策の目的 (取り組みの方向性)	高城老人福祉館は昭和50年に閉館され地域住民から多数利用されているが、経年とともに老朽化が進んでおり、施設の不具合が維持管理経費の圧迫や安全で安心できる施設利用の妨げとなる可能性が生じてくる。このため、地域住民が安心して利用できる施設としての維持管理を持続する必要がある。			
	施策の現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高城老人福祉館内の特殊トイレ及び男子・女子トイレをつないでいる傷んだ給水管を新しい給水管付設工事を行い安心して利用できる施設となった。 ・給水以外の施設についても修繕を実施する必要がある。 			
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年5月の給水管漏水の経費として、漏水から修繕に至るまでの水道料金の損失が約13万円及び給水管修理料が23万円であったが、給水管交換により施設の安全性・耐久性が高まった。 ・適切に修繕を行うことにより、機器の交換等大きな支出を抑制できた。 				
	<input checked="" type="radio"/> 順調である <input type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない				
施策展開の改善点等					

指標名		指標に設定した理由					
①	漏水による水道料金増額	通常支出することのない水道料の損失額で把握できる					
②	水道管修理料	老朽による給水管修繕費用					
③	修繕料(水道管を除く)	経年劣化による修繕ポイントを把握できる					
目標値と実績値		単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	円	0	0	0	0	/
	実績値	円	22393	0	0		
	達成度	%		100%	100%		
②	目標値	円	0	0	0	0	/
	実績値	円	230000	0	0		
	達成度	%		100%	100%		
③	目標値	円	0	0	0	0	/
	実績値	円	57750	0	113400		
	達成度	%					

施策を構成する主な事務事業					
事務事業名	老人福祉館管理運営費		課名	高城_市民生活課	
事業費(千円)	1,886	評価	現状維持	施策への貢献度	普通
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業				
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方			
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方			
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方			

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	1	「市民が主役のまち」	部署等名	山田総合支所
	基本方針	2	効率的な行財政基盤をもつまちづくり		
	基本施策	2	行政の効率化	作成課名	市民生活課
	施策の目的 (取り組みの方向性)	市内の高齢者福祉施設(養護老人ホーム霧峰園・元気な高齢者健康増進センター)について、指定管理者制度により適切に管理、運営することによって、高齢者福祉の充実を図る。総合福祉センターについて、地域福祉の拠点施設として、そのノウハウを唯一持っている市社協に指定管理することによって、更に地域福祉の推進・充実を図る。			
	施策の現況と課題	指定管理の目的である経費節減と効率的な住民サービスの両目的が達成できるよう、今後もモニタリング等の際に適切な指導等を行っていく。また、健康増進センターの利用が減少傾向に歯止めがかからない状況であるため、利用者の範囲を平成25年4月から市内全域に広げる。更なる経営努力を行い利用者の目標に達するよう努力が必要である。			
評価	指定管理者制度導入により、直営方式からすると削減効果があり、効率的な住民サービスが概ね提供できている。今後は行政と指定管理者が利用者増加に向けた検討を行い、更なるサービス向上が必要。				
施策展開の改善点等	<input type="radio"/> 順調である <input checked="" type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない 「山田元気な高齢者健康増進センター」については、利用者が年々減少傾向にある。改善策として、山田地区内在住者だけを対象にしていた事業を平成25年度から市内全域に拡大する。すでに広報を行ったが申込がほとんどない。事業内容の見直しと市民への広報を再度行い、利用者の増員を図る。				

指標名		指標に設定した理由					
①	都城市山田養護老人ホーム霧峰園	定員に対する入所者の数(年平均)が端的で分かりやすい。					
②	山田総合福祉センター利用者数	指定管理者が利用者のニーズ等に対応することで、利用者の増につながる。					
③	山田元気な高齢者健康増進センター利用者数	指定管理者が利用者のニーズ等に対応することで、利用者の増につながる。					
	目標値と実績値	単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	人	50	50	50	50	定員
	実績値	人	43	43	44		
	達成度	人	86%	86%	88%		
②	目標値	人	10,000	10,000	10,000	12,000	利用者
	実績値	人	9,547	13,144	12,948		
	達成度	人	95%	131%	129%		
③	目標値	人	7,000	7,000	7,000	5,000	利用者
	実績値	人	5,470	5,747	4,747		
	達成度	人	78%	82%	68%		

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	都城市山田養護老人ホーム霧峰園管理運営事業	課名	山田 市民生活課	
事業費(千円)	95,967	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	山田総合福祉センター管理運営事業	課名	山田 市民生活課	
事業費(千円)	1,922	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	山田元気な高齢者健康増進センター管理運営事業	課名	山田 市民生活課	
事業費(千円)	7,318	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名		課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名		課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名		課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名		課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名		課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業			
事務事業名		課名	
事業費(千円)		次年度予算(千円)	施策への貢献度
評価		今後の展開の在り方	
事務事業名		課名	
事業費(千円)		次年度予算(千円)	施策への貢献度
評価		今後の展開の在り方	
事務事業名		課名	
事業費(千円)		次年度予算(千円)	施策への貢献度
評価		今後の展開の在り方	

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	1	「市民が主役のまち」	部局等名	高崎総合支所
	基本方針	2	効率的な行財政基盤をもつまちづくり	作成課名	市民生活課
	基本施策	2	行政の効率化		
	施策の目的 (取り組みの方向性)		「高崎養護老人ホームたちばな荘」は、民間事業者が持つノウハウを活用することにより、入所者に対するきめ細かな質の高いサービスの提供を可能にするとともに、競争原理の導入により経費削減を図る。「高崎老人福祉館」及び「高崎介護予防ふれあい交流センター」は、民間事業者が持つノウハウを活用することにより、利用者に対するきめ細かな質の高いサービスを提供するとともに、総合的な相談窓口等の福祉サービスの安定的な継続を図る。		
	施策の現況と課題		指定管理の目的である経費削減と効率的な住民サービスの両目的が達成できるよう、今後もモニタリング等の際に適切な指導等を行っていく。また、「高崎養護老人ホームたちばな荘」は、施設管理の徹底と、入所者のアンケート結果を踏まえた環境改善が必要である。「高崎老人福祉館」は、施設の老朽化が進むとともに、施設利用者が高齢者に限定されていることから、利用者減が見られるため更に魅力ある高齢者教室の開催や利用範囲の拡大が課題である。		
	評価		三施設ともに、第1期の指定管理が終了して所期の目的を達成できているが、今後さらに高齢者等の福祉・自立支援の事業展開に期待したい。		
施策展開の改善点等		<input checked="" type="radio"/> 順調である <input type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない 「高崎養護老人ホームたちばな荘」は、施設の新築から7年が経過し、機械器具等の修繕が増加しているため、日頃の施設管理を徹底し、入所者のニーズに即した施設運営を図ることが必要である。「高崎老人福祉館」は利用者が高齢者に限定されており、さらに施設も老朽化しているため、年々利用者の減少が続いている。魅力ある教養講座等の開催を企画し、利用者増を図ることや利用範囲の拡大(条例改正が必要)等の努力が必要である。「高崎介護予防ふれあい交流センター」は、地域福祉の拠点の場として、今後さらに関係機関と連携し魅力ある事業展開を図る必要がある。			

指標名		指標に設定した理由					
①	入所者満足度	老人ホーム入所者へのアンケートにより満足度が端的に表現される。					
②	貸館業務の施設利用者数	老人福祉館の利用者実績が端的に表現できる。					
③	施設利用者数	交流センターの利用者実績が端的に表現できる。					
	目標値と実績値	単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	%	90	90	90	90	
	実績値	%	90	90	90		
	達成度	%	100%	100%	100%		
②	目標値	人	3,000	3,000	3,000	3,000	
	実績値	人	2,131	2,877	2,763		
	達成度	%	71%	96%	92%		
③	目標値	人	3,000	2,000	2,000	2,500	
	実績値	人	1,842	2,104	2,486		
	達成度	%	61%	105%	124%		

施策を構成する主な事務事業					
事務事業名	「高崎養護老人ホームたちばな荘」管理運営事業(指定管理者)			課名	高崎市民生活課
事業費(千円)	88,538	評価	現状維持	施策への貢献度	高い
事務事業名	「高崎老人福祉館」管理運営事業(指定管理者)			課名	高崎市民生活課
事業費(千円)	1,668	評価	現状維持	施策への貢献度	高い
事務事業名	「高崎介護予防ふれあい交流センター」管理運営事業(指定管理者)			課名	高崎市民生活課
事業費(千円)	2,047	評価	現状維持	施策への貢献度	高い
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業			
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方		

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	1	「市民が主役のまち」	部署等名	市民生活部	
	基本方針	2	効率的な行政基盤をもつまちづくり	作成課名	資産税課	
	基本施策	3	健全な財政運営			
	施策の目的 (取り組みの方向性)	地方交付税等の見直しや多様化する市民のニーズに的確に対応するため、行財政改革を強力に推進する必要がある。市の財政を支える基幹税目である固定資産税の課税客体の的確な把握と適正な評価に努め、公平・公正な課税を実現することにより、自主財源の安定的な確保を図る。				
	施策の現状 と課題	国から地方への税源移譲が進み、自主財源の確保の重要性が問われる中、景気は依然として低迷し、地価下落が続いている状況にあり、市の基幹税目である固定資産税を確実に確保することが特に重要である。このため、固定資産税の課税客体である、土地・家屋・償却資産の的確な把握が必要である。また、各資産の適正な評価を実施し、公平・公正な課税を推進する必要がある。				
評価	航空写真や各種資料(登記簿通知書・建築確認申請書等)による、土地・家屋の異動把握をしている。また、償却資産については、未申告や過少申告の把握をするため、実地調査を行っている。市内全域宅地の路線価評価方法への改善や地価下落率の把握を行い、適正な評価を実施している。公平・公正な課税を図り、固定資産税の安定的な確保を実現している。					
	<input type="radio"/> 順調である <input checked="" type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない					
施策展開の改善点等						

施策を構成する主な事務事業					
事務事業名	土地評価システム(路線価敷設業務)		課名	資産税課	
事業費(千円)	4,757	評価	現状維持	施策への貢献度	高い
事務事業名	鑑定評価事業		課名	資産税課	
事業費(千円)	2,124	評価	現状維持	施策への貢献度	高い
事務事業名	地番図・家屋図情報管理事業(ゼンリン地図更新)		課名	資産税課	
事業費(千円)	1,890	評価	現状維持	施策への貢献度	高い
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業			
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		

指標名		指標に設定した理由					
施策指標	① 土地異動処理業務執行状況	土地の異動処理の状況を端的に表すことができるため、指標として適している。					
	② 新築家屋調査業務執行状況	新築家屋の調査状況を端的に表すことができるため、指標として適している。					
	③ 償却資産実地調査件数	償却資産の調査状況を端的に表すことができるため、指標として適している。					
	目標値と実績値	単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
	①	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	①	実績値	100.0	100.0	100.0		土地異動処理
	①	達成度	100%	100%	100%		H22実績値
	②	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	②	実績値	100.0	100.0	100.0		新築家屋調査
	②	達成度	100%	100%	100%		H22実績値
	③	目標値	100	100	100	100	-
	③	実績値	99	70	77		-
③	達成度	99%	70%	77%		-	

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	1	「市民が主役のまち」	部局等名	農政部	
	基本方針	2	効率的な行財政基盤をもつまちづくり	作成課名	農村整備課	
	基本施策	3	健全な財政運営			
	施策の目的 (取り組みの方向性)	国土調査法に基づき全国の市町村で実施している事業である。明治初期に作成された縮尺等、脆弱で復元性に乏しい字限図地区を高精度な地積測量を行うとともに、地目、境界の確定等を行うものであり、公共事業の円滑化や、課税の公平化に資する。				
	施策の現況と課題	調査地の地権者の高齢化、若者の村離れ、森林荒廃による境界物証の喪失等により調査が難しくなりつつあり、事業の進捗を速めることが課題である。				
	評価	現在1地区(1km ² 強)を実施しているが、全体事業の進捗という観点では順調とは言えない。				
施策展開の改善点等	<input type="radio"/> 順調である <input type="radio"/> 概ね順調である <input checked="" type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない					

指標名		指標に設定した理由					
①	地籍調査進捗率	実績が端的に表現できる(累積実施面積÷調査対象面積)					
②							
③							
目標値と実績値		単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値		460.98	460.98	460.98	460.98	調査対象面積
	実績値		368.92	370.01	371.54		累計調査面積
	達成度		80.03%	80.27%	80.60%		
②	目標値						
	実績値						
	達成度						
③	目標値						
	実績値						
	達成度						

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	地籍調査事業		課名	農村整備課
事業費(千円)	30,797	評価	現状維持	施策への貢献度
普通				
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業			
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		

